

The magazine for high net worth individuals

SEVEN.

MONEY CULTURE

世界本拠地に誘われる
富裕層の文化の
マネー・ライフ・スタイル

9・10月号

創刊号 Vol.014

ハトロンへの道-⑭

オペレッタの至宝は、日本にあった。

日本オペレッタ協会会長 寺崎裕則氏

プライベートジェット活用術

第2特集◎スリランカ

癒しの国の贅沢スローライフ

特集

アーバンリゾート、
モナコを堪能する。

Interview Celebrity-8

村井氏が手掛けてきた名曲の数々を収録した企画CD

『コンポジションズ』(フォアレコード/FRCA-1129)が今年の初めに発売され、

赤い鳥「翼をください」(71年)、ザ・タイガース「廃墟の鳩」(68年)、

トワ・エ・モア「ある日突然」(69年)、ザ・テンプターズ「エメラルドの伝説」(68年)を

はじめとしたヒット曲のリメイクが話題を呼んでいる。

いい音楽は永遠に人々の心の中で輝き、時代を超えて次の世代へも愛され続けるということを

改めて認識させられる村井邦彦氏の音楽。

90年代から拠点を移したロサンゼルスから先日一時帰国し、

ご本人が過去、現在、そして未来について話してくださいました。

インタビュー＝矢幡聡子 写真＝野地康之 文＝湯山恵子 構成＝編集部

作曲家 村井邦彦

——パリでイタリア人の友人に紹介されてからもう十年になりますね。

懐かしいですね。あの頃はバークレールコードの依頼で曲を書いていた。

——日本ではポップス界を担う作曲家、編曲家、プロデューサーとしてYMOをはじめとした数々のアーティストと育ってこられました。最近ではヴァーチャル・オーケストラというものに挑戦なさっている。

カナダのアレンジャー、トニー・ベックと組んで、ウィーン・フィルの奏でる金管や木管の音色を正式にサンプリングしているんです。音を組立て直し、レイ・ブラウンや森山良子にも参加して貰って手掛けたんですよ。

——合唱団も参加しているとか。

そう。カナダにある教会の合唱団です。僕の新しいCD『コンポジションズ』にもヴァーチャル・オーケストラがフィーチャーされています。この他、細野晴臣や山本潤子等豪華ゲストが新作に参加しています。

——このところずっとアメリカを拠点に活躍されていますが、今後は日本でも活動再開されるんですね。どのような活動を？

今まで経験してきたことの集大成。僕の身体の中にあるジャズやクラシック、ロックやポップスなど、あらゆる音楽をひとつずつ取り出し、もう一度組立て直す作業をしたいですね。自分が演奏する曲もあるでしょうし、国内外問わず、これまで一緒にやってきた仲間達と組む予定です。

——今度はどういった方々？

海外勢ではハーヴィー・メイソンやハープ・アルバートをはじめとした友人達に相談しようと考えています。この他、2006年度の独・FIFAワールド・カップのテーマ・ソングを小室哲哉と作曲家の日向大介の3人で「翼をください」をヒップホップ&サンプラの要素を入れたアレンジで制作します。考えてみたら、音楽ばかりですね(笑)。



矢幡 聡子(やはた さとこ)

CORE S LTD.代表取締役。聖心女子学院卒業後、スイス、フランスへ留学。欧州国連本部、小谷正一事務所を経てCORE S LTD.を設立。主な仕事は、国際文化交流事業企画運営。PRコンサルタント、衛星テレビのプロデューサー、エッセイストとしても活躍。日本国連HCR協会広報委員



『コンポジションズ』
(フィアレコード/FRCA-1129) ¥2,730
『翼をください』『エメラルドの
伝説』などの名曲がオーケス
トラサウンドで楽しめる

Kunihiko Murai

アルファ・レコードの創立者、エグゼクティブ・プロデューサーとしてYMOを世界に送り出し、荒井由美(後の松任谷由美)を発掘したことでも知られる村井邦彦氏は、レコード会社の社長業の他に、『翼をください』(日韓共催サッカーW杯の日本代表応援歌)を手掛けた作曲家、編曲家、そして才能あるミュージシャンとして30年以上の間、国内外の音楽ファン達から敬意を集めている